

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農産物加工(味噌)事業
事業主体 (連絡先)	伊那市 (代表:白鳥 孝 しろとり たかし TEL0265-78-4111)
事業区分	(6)イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	1,609,200円(うち支援金:804,000円)

### 事業内容

高遠町農産物加工組合は、少子高齢化が進む地区にあって地元の女性たちにより構成・運営され、主力商品の味噌、その他ジュース・ジャム等の加工販売を行い地域活性化に取り組んでいる。

高遠町農産物加工組合では、主力商品である味噌加工設備(圧力煮炊き釜)が老朽化(15年間使用)により故障し、事業継続が困難となった。

事業継続のため、味噌加工設備(圧力煮炊き釜)を更新し、例年通りの時期を逃さず味噌仕込を行い地域活性化に寄与した。

### 活動



【煮た大豆を取り出す】

### 【目標・ねらい】

- ① 味噌加工販売の拡大
- ② 地域の活性化

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

本事業により主力商品である、ブランド名「高遠みそ」加工販売の継続が可能となり、今日まで続けてきた地域活性化の継続も可能となった。

- ① 設備更新による生産性の向上により、販売ルートの拡大を進めていく。
- ② 地域の女性たちの働く場所も確保できることとなり、引き続き地域の活性化に寄与できることとなった。

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

地域の人口が減少し担い手の増加に課題があり、残念ながら味噌の増産が思惑通りできるか不透明な点がある。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

従来からの個人販売は堅調なのでこれからもこれをメインとして運営したい。しかし、猿害により大豆生産をあきらめ、自家栽培大豆持ち込みの委託製造に陰りが見える。地区の有害鳥獣対策と合せて地域活性化を検討したい。

引き続き新宿フェスタなどに出品し新たな顧客を獲得していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある